

令和4年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人			450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人			480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-1 学校教育の充実							
<p>(1)【教育内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と地域が連携し、ふるさとへの愛着心を高める体験活動に取り組みます。</li> <li>○子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努め、魅力ある学校づくりを推進します。</li> <li>○ICTを活用し、現代社会に必要なとされる情報活用能力を育成します。</li> </ul> <p>(2)【個に応じた学習支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟に応じて、少人数で指導することにより、学力向上に取り組みます。</li> <li>○気がかりな児童・生徒に対応した学級運営に取り組みます。</li> <li>○特別に支援が必要な児童・生徒の発達段階に応じ、適切に取り組みます。</li> </ul> <p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめや不登校の兆しを早期に発見し、関係機関と連携して児童・生徒の支援に取り組みます。</li> <li>○就学による学校生活が円滑に移行できるよう、保育園等と小・中学校の連携を図ります。</li> <li>○教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。</li> </ul> <p>(4)【安全な教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる教育環境を整備します。</li> <li>○障がいをもつ児童・生徒に配慮した学習環境の確保を図ります。</li> <li>○省エネ機器の採用や自然環境に配慮した施設整備を推進します。</li> </ul> <p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で安心な学校給食の提供に取り組みます。</li> <li>○学校給食を通じて、地産地消、食の大切さや食文化などの食育に取り組みます。</li> </ul>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校	3校			毎年2校 (令和6年度)
意識調査で「学校は楽しい」にあてはまると回答する児童生徒の割合	66.0% (令和2年度)	66.0%	64.1%	63.2%			70.0% (令和6年度末)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -1	教育委員会運営事業	生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催します。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を1回開催し、教育行政について協議を行いました。		3,044 2,686
(1) -2	教育委員会事務局事業	教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図ります。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、感染症拡大防止、予防対策のための備品購入や清掃業務の委託を実施しました。		23,233 19,464

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -3	キャリア教育支援事業	職場体験や外部講師を招いての講演会を実施するなど、生徒が主体的に進路を選択できる能力や職業観を身に付けられるように取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍で活動が難しいなか、外部講師を招いての授業や職場見学・体験等を実施するなど、各中学校で創意工夫しながら、生徒自身が坂井市の魅力や特色、自身の将来について考える活動を実施しました。		220 10
(1) -4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	児童が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍にあって地域団体や企業との交流が難しいなかでも、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い、農業体験や地域活動に取り組みました。また、3校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		4,200 4,100
(1) -5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍にあって地域団体や企業との交流が難しいなかでも、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い、ふるさと活動や職業講座などさまざまな活動に取り組みました。また、1校が県のふるさとの魅力発信推進事業に取り組み活動内容の発表の動画作成を行いました。		1,100 1,100
(1) -6	ふれあい交流事業	様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き、市内小学校が参加して実施する連合運動会や音楽会を行うことができませんでした。スムーズな中学校生活を行うための6年生が中学校を訪問する小中連携事業については、全中学校で感染症対策をして実施しました。		3,802 896
(1) -7	小学校教育振興事業	ICTを活用した学習活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、プログラミング教育への対応を図っていくとともに、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上のために、外国語教育の充実を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、AIロボットや新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		67,022 60,069
(1) -8	中学校教育振興事業	ICTを活用した学校教育活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、課題を解決するための思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を養い、個性を活かした教育の充実を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、AIロボットや新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		31,861 30,649
(2) -1	学級運営支援事業	気がかりな児童生徒の学習支援を行うために学級サポーターを配置し、スムーズな学級運営を図る。また、学校生活に支障がある児童生徒の生活支援も行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られました。英語の教科指導員や特別支援教育の指導員を配置して、きめ細やかな学級運営を図りました。また、教職員の校務負担軽減を図るために令和5年度から導入する校務支援システムの環境整備を行いました。		115,260 97,399

No.	事業名	事業内容	所管課
(2) -2	学力充実推進事業	学力調査を行うことにより、児童の確かな学力の分析を行い、授業改善に取り組み、高い学力の維持を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	例年、国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力テストを実施しました。テストの結果から研究や研修を実施し、授業改善に向けた取り組みが行われました。		2,180 2,030
(3) -1	学校運営支援事業	教職員の働き方改革、業務負担の軽減を図るため、今後も配置を希望する小中学校に学校運営支援員の配置を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教員の事務負担軽減のために学校運営支援員を配置し、児童生徒に配布するための教材のコピーや印刷等を行うことで、教員の多忙化解消が図られました。		7,484 6,795
(3) -2	教育相談事業	学校に行きたくても行けない児童・生徒に、個に応じた学習活動を進めながら心の安定を図り、学校復帰への援助を行うとともに、その保護者に対しても子どもへの理解や対応に関する教育相談を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員、訪問員が学校と連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。		12,451 11,644
(3) -3	スクールソーシャルワーカー活用事業	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決が難しい複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決が難しい複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。		5,097 5,016
(4) -1	小・中学校管理事業	小・中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内24小・中学校施設の適正な維持管理を行います。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	小・中学校の適正な維持管理に努めました。各小・中学校において、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒の徹底や三密を避ける対策を図りながら、感染拡大防止に努めました。		578,283 561,490
(4) -2	小・中学校施設整備事業	児童・生徒の安全・安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行います。また、熱中症対策等を図りながら、質の高い学習を行えるように特別教室などへの空調設備の整備を行います。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教育環境の整備・改善のため、小学校3校(明草小Ⅱ期、雄島小Ⅰ期、磯部小)の大規模改造工事と、中学校5校の美術室などの特別教室26室に空調設備設置を行いました。また、建物の耐久性や機能、性能を高めるため、小学校2校(加戸小、長畝小)の長寿命化改良工事に向けた実施設計業務委託を行いました。令和4年度から令和5年度への繰越事業として、小学校3校(雄島小Ⅱ期、加戸小Ⅰ期、長畝小)の改修工事を施工します。		979,920 955,644
(4) -3	省エネ対策事業	エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づく特定事業者として、中長期計画書及び定期報告書の国への提出や説明会等への出席など、省エネに関する知識を習得し、意識を高めます。また、市内24小・中学校に設置したデマンド監視システムについて、各学校とデマンド値の設定協議を行い、省エネに対する理解と協力を得ながら教育環境を整えていきます。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和4年度については、デマンド監視システムを取り外した状態で、学校運営を実施しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防、拡大防止のため、換気を行いながら授業を実施し、児童・生徒、教職員の理解と協力を得ながら省エネに努めました。		28 0

No.	事業名	事業内容	所管課
(5) -1	学校給食管理事業	給食センターと丸岡地区の自校式小学校との連携を図りながら、すべての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	学校給食費の保護者負担を半額にして、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図りました。また、栄養士や給食調理員を対象とした研修を実施し、職場環境や衛生管理等の向上に努めました。		62,011
(5) -2	三国学校給食管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	中学校1校、小学校9校、幼稚園等4園の計14施設に給食を提供しました。地産地消の取組として地場産や特産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する情報の提供を行いました。なお、令和4年度の地場産食材の使用率は、56.9%でした。また、調理方法や量の調整等その他、学校等での食育を通して食品ロスの削減に努めました。		303,081
(5) -3	春江坂井学校給食センター管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	中学校2校、小学校4校、幼稚園2園の計8施設に給食を提供しました。地産地消の取組として地場産や特産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する情報の提供を行いました。なお、令和4年度の地場産食材の使用率は、50.3%でした。また、調理方法や量の調整等その他、学校等での食育を通して食品ロスの削減に努めました。		264,999



4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【教育内容の充実】 （教育総務課） タブレット端末を利用した授業が増えていく中、特別教室等のWi-Fi環境整備や大規模校等の光回線2回線化を図る必要があります。 （学校教育課） GIGAスクール構想による児童生徒一人一台整備されたタブレット端末や授業支援ソフトを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実践を図りました。プログラミング学習では、市内全小中学校で教育用A Iロボットを活用して学習を行い、学習成果の発表を教育用A Iロボットを利用して行いました。情報モラル教育として、スマートフォンやSNSの正しい利用についてSNSノートを活用して行いました。また、通信環境が整備されていない家庭へはWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。</p>
	<p>(2)【個に応じた学習支援の充実】 （学校教育課） 一人一台タブレットを活用したデジタルドリルを導入するとともに、中学校では、習熟度別学習を行う等、個別最適化された学びの推進を図りました。今後も新たなICT環境の活用、きめ細やかな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を継続していくことが必要です</p>
	<p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】 （学校教育課） 不登校については、年々増加傾向にあるため、児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることにより、不登校の未然防止につながるよう引き続き支援します。また、全ての児童生徒にとって「通うのが楽しい学校」となるよう、児童生徒が抱える様々な問題に迅速・適切に対応できるよう関係機関と連携を取りながら、就学指導体制・教育相談体制の充実に向けて支援を行います。</p>
	<p>(4)【安全な教育環境の整備】 （教育総務課） 小学校の大規模な改修工事については、明章小・雄島小・磯部小の3校の工事、加戸小・長畝小の2校の設計を計画に基づき実施しました。令和5年度以降も計画的に工事・設計を実施予定です。また、中学校の環境整備については、市内全5校の特別教室（美術室・家庭科室・技術室等）への空調設備設置工事を行いました。 現在の学校施設整備計画は令和7年度までの計画となっていますので、令和8年度以降の計画を策定していきます。併せて、老朽化が進んでいる学校プールや、丸岡地区の自校式給食室等の今後の方針について、今後の児童生徒数の減少や、地域における役割なども考慮しながら、再確認・検討していく必要があります。</p>
	<p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】 （学校教育課） すべての児童生徒に安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めました。 令和4年度は、学校給食費を半額とし、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。令和5年度も物価高騰による家庭の負担軽減を図るため学校給食費の半額を継続します。今後も食材料費の価格上昇を鑑みた学校給食費の改定や、保護者負担の軽減の内容についても継続して検討する必要があります。 丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図っているところです。これから、丸岡自校式の施設・設備の老朽化や児童生徒数の減少、正職調理員の減少を見据えた自校式給食および民間委託の在り方、給食センターの配送校の見直し、春江坂井学校給食センターの調理業務の民間委託について、検討を進める必要があります。</p>

5.<基本計画に向けた令和5年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	教育委員会運営事業	教育総務課	効果あり	継続
(1)-2	教育委員会事務局事業	教育総務課	効果あり	継続
(1)-3	キャリア教育支援事業	学校教育課	効果あり	継続
(1)-4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	学校教育課	効果あり	継続
(1)-5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	学校教育課	効果あり	継続
(1)-6	ふれあい交流事業	学校教育課	効果あり	継続
(1)-7	小学校教育振興事業	学校教育課	効果あり	継続
(1)-8	中学校教育振興事業	学校教育課	効果あり	継続
(2)-1	学級運営支援事業	学校教育課	効果あり	継続
(2)-2	学力充実推進事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-1	学校運営支援事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-2	教育相談事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-3	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	効果あり	継続
(4)-1	小・中学校管理事業	教育総務課	効果あり	継続
(4)-2	小・中学校施設整備事業	教育総務課	効果あり	継続
(4)-3	省エネ対策事業	教育総務課	将来的な効果あり	継続
(5)-1	学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
(5)-2	三国学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
(5)-3	春江坂井学校給食センター管理事業	学校教育課	効果あり	継続

令和4年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人			450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人			480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							
<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】</p> <p>○一人一人が自己の教養を深め自己実現が図れるよう、生涯学習機会の充実に取り組み、誰もが豊かな人生を送ることができる社会づくりを推進します。</p> <p>○地域やNPO法人、ボランティア団体、大学等と連携を図り、よりよい生活や地域を創る学習活動を推進します。</p> <p>○子どもと大人がふれあう講座の実施など世代を越えた交流を促進し、子どもたちの共生する力を育みます。</p> <p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】</p> <p>○コミュニティセンター内にカフェなど憩いのスペースを設置し、市民がふれあう地域コミュニティの場を提供します。</p> <p>○さまざまなアプローチによるまちづくりに繋がる講座等を実施し、学習と交流の場を提供します。</p> <p>○地域の特性を活かし、シビックプライドの醸成を図る催し等を実施します。</p> <p>○各々が描くまちづくりを実現するため、個人またはグループの活動を支援します。</p> <p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】</p> <p>○市内の豊かな自然に触れ合う体験活動等を提供し、健やかな心身を持つ青少年を育成します。</p> <p>○小学生が地域の施設に宿泊し通学する事業などを通じて、自立性・自主性・協調性を育みます。</p> <p>○学校と地域が連携強化し、見守り活動や青少年の非行防止活動、家庭教育支援の充実に図り、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるための環境づくりを進めます。</p> <p>(4)【図書館機能の充実】</p> <p>○教育・文化に関する領域に留まらず、市民の暮らしや社会に役立つ情報を提供します。</p> <p>○子どもたちの読書普及活動を推進します。</p> <p>○高齢者や障がいを持つ人が利用しやすい読書環境を整備します。</p> <p>○記念文庫内の貴重な資料の適正な保存管理に努めます。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座	365講座			350講座 (令和6年度)
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人	14,276人			26,000人 (令和6年度)
市立図書館貸出冊数	860,183 冊 (平成30年度)	622,630 冊	817,456 冊	749,522 冊			880,000冊 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1)-1	放課後子ども教室事業	地域の参画を得て、ノウハウを共有しながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を提供し、居場所づくりと次代を担う人材育成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	子どもたちに放課後や週末などの時間を利用し、様々な体験や活動の機会を提供するとともに、安全、安心な居場所を提供することを目的に事業を実施しました。各コミュニティセンターで地域のボランティアの協力を得ながら、学習補助や茶道・書道・太鼓など文化芸術の体験、世代間で交流できる門松づくりなど様々な機会を提供しました。開催日数は延べ477日、4,521人の子どもたちが参加しました。		2,250

No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	コミュニティセンター主催講座、共催講座など、地域の誇りやニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進します。また、コミュニティセンターに憩いのスペースを設置し、気軽に利用できる施設運営を行います。	市民協働課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市内26箇所のコミュニティセンターにおいて、住民ニーズを把握しながら講座を実施しました。10箇所のコミュニティセンターで吉川壽一氏作品展を実施した際に、併せてオンデマンド型交通乗車体験を企画し、より多くの市民にコミュニティセンターを利用していただきました。コミュニティセンターの憩いの場として、カフェコーナーの充実を図り、気軽に立ち寄れる施設を目指しました。		8,926 7,250
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-2	社会教育団体補助事業	社会教育団体の活動を支援し、その運営基盤の強化を図り、持続可能な社会教育の推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	地域社会の活力向上や社会教育活動を通して市民の交流が図れる団体の活動の支援ができました。坂井市PTA連合会事業に220千円、ガールスカウト育成団体運営に140千円、ボーイスカウト育成団体運営に70千円、坂井市女性の会運営に1,000千円、三国海洋少年団育成団体運営に30千円、かるた協会事業に294千円の活動補助をしました。		1,840 1,754
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-3	市民運動推進事業	地域での花壇づくり等市民の自主的かつ創意的に取り組む活動を支援し、住みよいふるさとづくりの推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	毎年実施している花壇コンクールに今年度挑戦した団体は、今年度も広域部門で9団体、地区単位で53団体の応募があり、花壇づくりをはじめ、市民が自らの創意による活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいまちづくりを目指した意識向上と推進を図ることができました。		340 340
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-4	子ども会育成事業	幼少年期から家庭や学校以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした活動体験を通して、子どもの健やかな成長と青少年のリーダーとなる人材育成を推進します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	チャレンジランキング大会やディスクドッチ大会、壁新聞コンクール、かるた大会の事業を通じて、異なる学校や異学年との交流を行うことができました。壁新聞コンクールでは地域を学ぶ機会を設けることができ、24作品の応募がありました。ジュニアリーダーズクラブでは地区の子ども会やわんぱく少年団事業への派遣依頼があり、リーダーとして活動することができました。		2,145 2,052
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-5	成人式事業	市として新成人の門出を祝福し、成人としての自覚と心構えを促すとともに、ふるさと坂井市への想いを高め、地元での活躍や地域貢献への醸成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス対策として2部制で実施しました。704名が参加し、参加率は72.7%でした。また、はたちのつどい実行委員会を結成し、楽しんでもらえるような内容を自ら企画、運営することで、参加者が満足できる催しとなりました。		1,384 1,219
No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-1	わんぱく少年団事業	坂井市の自然を体験・体感して楽しめる魅力あるプログラム(キャンプや磯観察等)を設定し、元気で心豊かな少年を育成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市内の小学5、6年生の児童30人が坂井市の自然を季節ごとに体験できるトレッキングや磯観察・工作など9回のメニューに挑戦しました。また、今年度よりわんぱく少年団事業の発展形として市内小学生を対象とした自然体験活動「わんぱく王国」事業を開始しました。山登りや魚つかみ等全13種類のメニューを計28回実施し、延べ人数380人が参加しました。また、8種目以上達成した2人の児童には「わんぱく王」の称号を授与しました。		5,219 4,670
No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	宮崎県延岡市との姉妹都市交流事業の一環として、PTAの関係者並びに地域のボランティア等が両市の児童と体験学習を通じて、地域で子どもたちを育てる意識の高揚を図る。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症拡大状況から、今年度の延岡市児童の招へい事業は実施できませんでした。		667 0



No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-3	合宿通学事業	家庭を離れ合宿生活を体験することで、日常における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てます。また、地域の方々の協力のもと、子どもと地域の結びつきを図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	昨年度に引き続き「防災合宿」として、避難所の体験として段ボールベッドやテントを組み立てて宿泊したり非常食の調理体験や防災学習など、防災をテーマとした合宿を実施しました。赤十字奉仕団の協力のほか、まちづくり協議会や更生保護女性会、食生活改善推進員など地域のボランティアも加わり、子どもと地域の結びつきを図ることができました。また自衛隊の協力を得てサバイバル教室の実施もでき、充実した内容の防災合宿となりました。市内4地区で1校ずつ開催し、116名の児童(小学5、6年生)が参加しました。		700 513
(3)-4	心の家庭教育支援事業	家庭教育支援員による子どもとの会話や保護者からの相談業務を通じて、子育てに必要な情報や手法を提供するとともに、学校等と連携し、さまざまな角度から家庭教育の支援に取り組みます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	各地区で家庭教育支援チームを結成し、支援員が市内の小学校16校における月2回程度の子ども相談室を開催し、子どもたちに寄り添いました。また、小学校の保護者会や就学時健康診断時などを活用した保護者相談会を開催し、子育てに関する保護者の悩みを聞くなどのサポートを行いました。		1,611 1,607
(3)-5	青少年育成坂井市民会議事業	地域における、見守り活動や挨拶運動など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組み、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市内23支部において、登下校時の見守り活動やあいさつ運動を毎日実施することで、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組みました。12月には坂井市民運動推進協議会と合同主催でふるさとづくり大会を実施しました。大会には74人が参加し、「少年の主張」コンクール入賞者の発表を行いました。		2,126 2,063
(4)-1	子どもの読書活動推進事業	お話し会や、ブックスタート事業、講演会などを通して、子どもが本と出会う機会をつくります。また、読み聞かせボランティアの育成や支援に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	お話し会やブックスタート、学校配本などを継続する他、小学生対象のブックトークやジュニア司書養成講座開催に向け準備を進めています。また、絵本作家の講演会・原画展を開催し、子どもの読書普及に努めました。また、「いきいき見守り隊」活動も継続し、登録者44人による普段の生活の中での気軽な見守り・防犯活動を促進しました。		2,208 1,868
(4)-2	図書館サービス事業	地域における生涯学習の場として、高齢者や障がいを持つ人も図書館を円滑に利用できるようなきめ細やかな対応に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	引き続き、各館で暮らしや趣味等に役立つ資料・情報を集める他、市内4館のネットワークを活かした配本や県内外の図書館と相互貸借を行いました。また、三国図書館の改修工事を行い、安全性と利便性の向上に努めました。		239,165 236,336
(4)-3	記念文庫運営事業	偲ぶつどいや講演会などを開催するとともに、記念文庫内資料の適切な保存管理を行い、郷土にゆかりのある文学や歴史を継承していきます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	中野文庫、小葉田文庫の保存整理を行いました。また、中野重治を偲ぶつどいの「くちなし忌」と小葉田淳記念文庫講演会は、感染予防に配慮しながら開催しました。		1,190 961



4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 （生涯学習スポーツ課） 放課後子ども教室は市内25のコミセンで実施しており、地域住民の方々の協力を得ながら放課後や休日の居場所を作っています。しかし、内容の充実度が教室ごとに差があるため、地域性を考慮しながら内容の充実を図ります。 合宿通学事業は令和2年度より避難所生活を体験し、防災の知識と経験を得る防災合宿を実施しています。今後は、地域の人たちと一緒に実施し、地元まちづくり協議会などが独自で実施できるようにはこんでいきたいと考えています。</p>
	<p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 （市民協働課） コロナ禍において構築されたオンラインによる講座やデジタル社会に対応した講座や市民のニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進していきます。 （生涯学習スポーツ課） 子ども会育成事業は、チャレラン大会やディスクドッチ大会、壁新聞コンクール等の活動を通して、異なる学校や他学年、そして地域の大人と関わる機会を提供しています。今後は、より一層の市内の子ども同士の交流を図ることと各地区の単位子ども会の活発を狙った活動を行っていきます。また、ジュニアリーダーズクラブでは地域の子ども会活動や他事業の体験活動のお手伝いを行うことでリーダーとなる人材の育成を図ります。</p>
	<p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 （生涯学習スポーツ課） 見守り活動では見守り隊員の高齢化が顕著であることから、誰でも気軽にできる「いきいき見守り隊」の制度を設けましたが、周知が行き届かず、今年度は2人の申請にとどまりました。来年度は地域全体に浸透しやすいPR方法を考えます。</p>
	<p>(4)【図書館機能の充実】 （図書館） コロナ禍で昨年度までは来館者の数値が低迷していましたが、徐々に戻りつつあります。今後も来館者数480,000人、貸出冊数880,000冊を目指し、子どもの読書普及やきめ細やかで円滑なサービスに取り組んでまいります。また、三国図書館のLED化を含めた改修工事を行いました。今後も、快適な環境づくりに努め、安全安心で親しまれる施設を目指します。</p>

5.<基本計画に向けた令和5年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	放課後子ども教室事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	市民協働課	効果あり	継続
(2)-2	社会教育団体補助事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-3	市民運動推進事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-4	子ども会育成事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-5	成人式事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-1	わんぱく少年団事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-3	合宿通学事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-4	心の家庭教育支援事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-5	青少年育成坂井市民会議事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(4)-1	子どもの読書活動推進事業	図書館	将来的な効果あり	継続
(4)-2	図書館サービス事業	図書館	将来的な効果あり	継続
(4)-3	記念文庫運営事業	図書館	小さい効果	継続

令和4年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人			450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人			480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興							
<p>(1)【文化財の保存と活用】</p> <p>○地域にある文化財の調査や掘り起こしを行い、保存活動を進めるとともに、文化財を活用した地域活性化を図るため「坂井市文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや観光分野とも連携した活用に取り組みます。</p> <p>○三国祭や舟寄踊、日向神楽などの地域に残る無形文化財を後世に伝承するため、活動の記録・保存とともに、文化継承の担い手の確保や育成を支援します。</p> <p>○丸岡城の学術調査の成果をもとに、市民と文化財としての価値を共有するとともに、丸岡城天守や周辺部「城郭・丸岡城」の文化財としての価値の確立と観光資源としての評価の向上に取り組みます。</p> <p>○六呂瀬山古墳群をはじめ、埋蔵文化財の保存・出土品等の保存整理と公開活用に必要な施設整備等に取り組みます。</p> <p>○みくに龍翔館については、歴史文化遺産に関する資料を収集・保存・調査研究・展示活用する博物館機能を強化するとともに、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。</p> <p>(2)【文化芸術活動の振興】</p> <p>○坂井市文化協会をはじめとする文化団体の活動や後継者育成に対する支援に努めます。</p> <p>○文化ホールを市民の文化活動の拠点として広く活用してもらうため、各施設の機能や特性を活かし利用促進を図っていきます。</p> <p>○一筆啓上日本一短い手紙の館は、「一筆啓上賞」を核に地域に根ざした手紙文化を広く発信していくとともに、手紙に触れる機会を通して郷土に対する誇りや愛着を深めてもらえるよう、学校や地域との連携を図っていきます。</p> <p>○優れた芸術作品に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術に関する感性と創作意欲の向上を図ります。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158 人 (平成30年度)	69,616人	65,394人	108,875 人			150,000人 (令和6年度)
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—	—			30,000人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに			11.住み続けられるまちづくりを			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -1	地域計画作成事業	歴史・文化を活かしたまちづくりを計画的・継続的に推進するため、文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和元年度から3年間をかけ作成した計画が令和4年の7月に国の認定を受けました。12月には認定に伴い記念講演を実施、また、3月には三国祭の意見交換会も実施しました。		737 606
No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -2	文化財保存管理事業	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市内にある国・県・市の指定を受けた文化財の保存管理に対する補助金、奨励金の交付や勾玉や銅鐸作成の体験学習を開催しました。また、史跡や施設の管理委託並びに修繕等を実施しており、文化財の修繕では天之図(重要文化財：瀧谷寺所有)を修理しました。		15,242 11,463

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -3	埋蔵文化財発掘調査事業	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知に心がけるとともに、適切な指導・助言に努めていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	10月に行った六呂瀬山古墳群発掘調査において、1号墳の全長が143mとなり北陸最大の古墳であることがわかりました。また、六呂瀬山古墳群調査整備委員会については今年度、2回開催しております。埋蔵文化財発掘届出関係事務並びに届出に伴う試掘調査についても例年とおり行いました。		16,546
(1) -4	丸岡城国宝化推進事業	調査成果の周知広報を通して、丸岡城の文化財的価値の向上を図ります。また、引き続き丸岡城の学術的調査を継続するとともに、調査で収集した資料を広く公開するよう、報告書やパンフレット等を作成して教育普及に努めます。	文化課 (丸岡城国宝化推進室)
	主な取り組み実績		予算(千円)
	元禄8年(1695)の有馬清純の丸岡移封から江戸時代の終わり(有馬道純の代)までの期間の丸岡城に関する文献資料を取りまとめた丸岡城学術調査資料集第3集や丸岡城調査研究パンフレット「知られざる丸岡城」No.10の刊行により、調査成果を広く公開しました。また、丸岡城調査研究アドバイザーからアドバイスをいただきながら調査研究を進めました。		9,482
(1) -5	みくに龍翔館管理運営事業	坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図る。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	みくに龍翔館は、令和2年11月から令和5年春まで、改修工事のため休館しています。令和4年度は、事務所を三国運動公園健康管理センターからみくに龍翔館へ戻し、施設管理を行いながら、開館後の管理運営について検討しました。		36,525
(1) -6	みくに龍翔館改修整備事業	多様性と共通性をもった各地域からなる坂井市全体の歴史文化のハブとなる博物館として整備をすすめます。また、地域に点在する資源を集積・保存・活用し、魅力的な展示や事業を展開、来館者や市民の誰もが坂井市の歴史や風土・文化をあらためて認識する機会をつくるとともに、シビックプライドの醸成にも努めます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	令和3年度・4年度で展示製作を実施するとともに、ライトアップと庭園の改修、イルミネーションの設置を行いました。館外に移設していた資料を収蔵庫に戻し、収蔵庫の燻蒸を実施しました。オープニング式典などの開館準備にも着手いたしました。		571,847
(1) -7	みくに龍翔館資料収集・保存事業	坂井市の豊かな歴史文化遺産に関する資料を収集し、その散逸を防ぎ、未来への遺産として後世に引き継ぎます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	新常設展示のための資料補修(三国祭山車人形、船絵馬、仏壇瓔珞ほか)を実施しました。また、船筆笥や工芸品などの資料を購入し、新しい常設展示に加えていきます。		20,012
(1) -8	みくに龍翔館調査研究事業	収蔵資料および展示資料等の調査研究を進め、坂井市の歴史や文化に関する研究拠点としていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	専門家の指導のもと新常設展示の具体的な内容について調査研究を進めました。それをもとに、新常設展示資料の選定や展示コンテンツの原稿作成などを行いました。		3,314
(1) -9	みくに龍翔館展示および教育普及事業	博物館施設として基盤となる資料収集、調査研究の成果を還元・反映し、坂井市の風土、歴史・文化をわかりやすく魅力的に伝え、市民や来館者が「楽しく学べる場」を目指します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	オープン記念特別展や教育普及のためのワークショップなど、オープン後の企画運営について検討し、講師依頼などの準備に着手しました。		2,713



No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -10	みくに龍翔館観光連携事業	館に多く収蔵される日本遺産「三国湊」の構成文化財や、東尋坊などの観光資源に恵まれた立地条件を活かし、来館者の誘致拡大を図るとともに、丸岡城をはじめとした市内観光地へと誘導していきます。また、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	ミュージアムショップの設置準備に着手し、オリジナル商品の開発を進めています。また、市内観光地への誘導を図るため、観光情報コーナーに設置する観光カードを作成しました。		761
(2) -1	文化活動支援事業	日頃の活動成果を発表する文化祭の開催を支援し、文化活動に対する市民の積極的な参加を推進します。また、文化ホールで開催する様々な舞台芸術公演を支援し、文化に触れる機会を提供します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底して市内4会場で開催しました。公演事業では、様々なジャンルのアーティストの公演や地元出身の音楽家によるコンクール、演劇教室MAFFによる中高生演劇ワークショップ等に取り組みました。支援事業では、4件の申請がありました。		22,200
(2) -2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に取り組みます。また、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	丸岡文化財団に手紙の館の事業運営を委託し、一筆啓上賞や手紙をテーマにした企画展等を実施しました。一筆啓上賞は30回目を迎え、今回の作品応募者数は、約39,700通でこれまでに約157万通を超える応募がありました。夏の企画展「戦国の丸岡」は大好評で、約3,720人の来場者がありました。手紙の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らし実施しましたが、参加人数は例年よりも減少となりました。		14,148
(2) -3	ONOメモリアル管理運営事業	地隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	福井県立美術館主催の「戸田正寿展」に共催し、坂井市出身の世界的なアーティスト戸田正寿氏の周知を図りました。また、市内小学生を対象にふるさとの風景画を募集する「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」を実施し、豊かな感性で描かれた多くの作品が出品されました。		12,203

4.<基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

現状と課題 および展開	(1)【文化財の保存と活用】 (文化課) みくに龍翔館については、令和3年度・4年度で施設・展示の全面改修を行いました。令和5年春には「坂井市龍翔博物館」としてリニューアルオープンします。坂井市全体の歴史文化の保存・活用の拠点となる博物館施設として十分に役割を果たしていくため、新たな企画運営方針の確立が課題となっています。魅力的な展示や事業展開を通じてシビックプライドの醸成や交流人口の増加を図れるよう、新しい市の博物館として運営してまいります。
	(2)【文化芸術活動の振興】 (文化課) 若い世代が文化芸術に興味を持ち積極的に参加できるよう、中高生対象の継続的な演劇ワークショップや発表会事業を実施しました。後継者育成や専門の人材の確保につながるよう取り組んでまいります。また、ONOメモリアルについては、作家や地元の芸術団体から作品を展示したいという要望への対応や、高校生現代アートビエンナーレをはじめとする事業の安定した継続や施設の周辺整備が課題となっています。イベントの企画運営や周辺整備について長期的な計画を立て、リニューアルする坂井市龍翔博物館とも連携しながら利用者の誘致を図ってまいります。

## 5.&lt;基本計画に向けた令和5年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性&gt;

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	地域計画作成事業	文化課	効果あり	完了
(1)-2	文化財保存管理事業	文化課	効果あり	継続
(1)-3	埋蔵文化財発掘調査事業	文化課	効果あり	継続
(1)-4	丸岡城国宝化推進事業	文化課 (丸岡城国宝化推進室)	効果あり	継続
(1)-5	みくに龍翔館管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-6	みくに龍翔館改修整備事業	文化課	効果あり	完了
(1)-7	みくに龍翔館資料収集・保存事業	文化課	効果あり	継続
(1)-8	みくに龍翔館調査研究事業	文化課	効果あり	継続
(1)-9	みくに龍翔館展示および教育普及事業	文化課	将来的な効果あり	拡充
(1)-10	みくに龍翔館観光連携事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(2)-1	文化活動支援事業	文化課	効果あり	継続
(2)-2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	文化課	効果あり	継続
(2)-3	ONOメモリアル管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続

令和4年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人			450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人			480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-4 生涯スポーツの振興							
<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ○市民一人ひとりが精神的な豊かさや充実を感じられ、生きがいつくりや体力の向上、健康の保持・増進により、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツやレクリエーションなどの生涯スポーツ活動を支援・推進します。</p> <p>(2)【トップアスリートの育成】 ○競技スポーツの向上には、一貫性のある指導体制による選手育成システムの構築が必要であり、トップレベルの競技者や指導者が活動できる環境の整備を推進します。 ○競技スポーツの振興に寄与する団体を支援し、小学生から高齢者まで競技者の段階的な育成を図ります。</p> <p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】 ○市内全スポーツ施設の利用状況や管理経費等を総合的に検証したマネジメント計画を策定し、当該計画に基づき適正かつ効率的な施設整備並びに維持管理を行います。</p> <p>(4)【スポーツツーリズムの促進】 ○福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催した実績とレガシー（遺産）を活かし、各競技の全国大会や国際大会の開催、トップアスリートの合宿誘致などスポーツツーリズムによる国内外との交流を深めます。</p>							
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人	4,257人			11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人	0人			150人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を			4.質の高い教育をみんなに			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -1	スポーツ大会運営事業	古城マラソンや市民スポーツ祭などスポーツイベントの開催のほか、各種スポーツ大会の運営に対して助成を行い、スポーツの振興を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	開催時期を6月から11月に変更し、熱中症のリスクが大幅に下がり、開催となった古城マラソン大会は1,755人参加し、県内で一番参加者の多いマラソン大会となりました。市民スポーツ祭はスポーツ推進員や高校生による体験ブースを設け、2,461人が参加しました。坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業に対し100,000円の運営補助をしました。		19,426 18,289
No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -2	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ推進委員が行うスポーツの実技指導やニュースポーツ教室などの開催を通して生涯スポーツの推進のもと、市民の健康維持と交流を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	子ども会やPTA行事、老人クラブ等から15件の派遣依頼があり、延べ719人の市民の方へニュースポーツや体操指導を行うことができました。また、ストレッチに重きを置いたマリン体操以外のリズム体操を作ることができました。		1,770 1,449



No.	事業名	事業内容	所管課
(2) -1	スポーツ振興事業	市民に地元の誇りとスポーツ意欲の向上をもたらすトップアスリートの輩出やトップチームを育成するための支援を行います。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	全国スポーツ大会出場選手384人に対し助成を行うことができました。また、地域密着型トップスポーツチーム支援事業として、坂井フェニックスサッカークラブと福井丸岡RUCKにそれぞれ1,000千円の補助を行いました。		99,151 96,891
No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -1	体育施設維持管理事業	体育施設に関するマネジメント計画等に基づき、効率的な管理運営を行います。また、ネーミングライツ等の費用負担を軽減する方策を検討します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	丸岡B&G海洋センタープールろ過ポンプ取替工事 1,287千円、丸岡スポーツランド人工芝グラウンドナイター照明調整工事 139千円、三国運動公園温水プール電気設備改修工事 9,664千円、丸岡スポーツランド新幹線高架下整備工事 8,429千円、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター人工芝張替工事 12,529千円、三国運動公園屋内温水プール窓オペレーター改修工事 2,420千円、春江水泳プール解体工事 7,568千円、丸岡フィットネスセンター男子トイレ改修工事 1,254千円、三国運動公園子ども広場遊具改修工事 2,376千円、三国運動公園健康管理センター機械室機器・配管類撤去工事 847千円、三国運動公園屋内温水プール屋上防水改修工事 20,463千円、丸岡フィットネスセンタートイレ改修工事 3,553千円、三国体育館気中開閉器入替工事 754千円、高椋小学校体育館防球ネット更新工事 285千円、三国運動公園高圧ケーブル取替工事 2,716千円 三国体育館トレーニングマシン購入 5,280千円、自動体外式除細動器(AED)購入 1,167千円		80,812 80,731
No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -2	体育施設整備事業	施設の利用状況や利用者のニーズを把握し、計画的に改修や修繕など整備工事を行い、安全で快適なスポーツ環境づくりを進めます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和4年度実績なし		0 0
No.	事業名	事業内容	所管課
(4) -1	ワールドマスターズゲームズ運営事業	誘客力や国際力のある各種全国大会や世界大会を積極的に誘致・開催する「坂井市版スポーツツーリズム」を促進し、スポーツによるまちづくりを目指します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和5年5月の開催に向け、市実行委員会の公式ホームページ上で大会の広報や参加者の募集を行い、プロ大会選手117名、フレンドシップ大会選手64名、同伴者36名が参加することとなりました。大会開催に向けて、会場装飾物の制約や参加賞の調達と、プロ大会開催による大会運営シミュレーションを行いました。		10,000 10,000
No.	事業名	事業内容	所管課
(4) -2	保健体育事務事業	スポーツ振興の充実を図るための事業を行います。また、各種協議会等に対し負担金を助成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和4年度実績なし		0 0

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 （生涯学習スポーツ課） スポーツ推進委員運営事業では、地域からの派遣依頼や自主企画、古城マラソン等の市主催行事への協力を通して、スポーツの振興と市民の健康増進に努めています。派遣依頼は15件あり、主に老人クラブ等の体操指導やニュースポーツ体験指導、子ども会ディスクドッチ大会の審判がありました。自主企画よりも派遣依頼に力を入れ、広報等にて周知を積極的に行っていきます。</p> <p>(2)【トップアスリートの育成】 （生涯学習スポーツ課） 引き続き、競技スポーツの振興に寄与する団体を支援していきます。</p> <p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】 （生涯学習スポーツ課） 費用面等も考慮しながら、計画的に改修・再整備またその維持管理を行っていくことで、より多くの人々がスポーツに触れ合う機会を伸ばしていきます。</p> <p>(4)【スポーツツーリズムの促進】 （生涯学習スポーツ課） ワールドマスターズゲームズの開催を契機に、「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を進めていく必要があります。また、坂井市には、様々なスポーツ施設の他、多くの宿泊施設があり「スポーツ合宿」の誘致に適しているため、アクセスが容易な関西や中京圏からの誘致を積極的に進める必要があります。</p>
----------------	---

5.<基本計画に向けた令和5年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	スポーツ大会運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(1)-2	スポーツ推進委員運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-1	スポーツ振興事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-1	体育施設維持管理事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-2	体育施設整備事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(4)-1	ワールドマスターズゲームズ運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(4)-2	保健体育事務事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続